



# 南河内小中学校だより

教育目標 『ふるさとを愛し 夢に向かって高め合える子を育む』  
・すすんで学ぼう ・心をみがこう ・体をきたえよう

No. 2-②

令和4年5月25日

## 《5月13日～16日 春季地区大会》

限られた時間の中で練習してきた成果を発揮し、頑張っている姿がとても素晴らしかったです。勝負に勝敗はつきものなので、悔しい思いをした生徒もたくさんいると思いますが、次につながる大会になったと思います。

結果は以下の通りです。

☆は県大会出場

野球	☆第3位
ソフトテニス男子	団体 ☆第3位 個人 ☆準優勝 ****・****ペア ☆ベスト16 **・**ペア
ソフトテニス女子	団体 ☆第5位 個人 ☆第3位 **・**ペア ☆ベスト16 **・**ペア ☆ベスト16 **・**ペア
バドミントン男子	団体 ☆第3位 シングルス ☆準優勝 ** ☆第5位 **
バドミントン女子	団体 ☆準優勝 ダブルス ☆第4位 **・**ペア ☆第8位 **・**ペア
剣道男子	団体 惜敗
剣道女子	団体 惜敗 個人 ☆ベスト8 **



県大会出場を勝ち取った各部の活躍を期待したいと思います。県大会期間は、6月2日～6月5日です。

## 《5月17日 学校運営協議会開催》

今年度の第1回学校運営協議会を開催しました。開校に伴い、旧4校の各地区から2名ずつの委員が推薦されており、学校職員を含め10名の組織としてスタートいたしました。学校運営協議会の大きな役割に、校長の学校経営方針の承認と学校支援があります。今回はまず、今年度の学校経営方針について説明し承認をいただきました。今後、教育活動を進めていく上で、様々な場面でご意見をいただくことになると思います。1年間、よろしくお願いいたします。

令和4年度学校運営協議会委員の皆様（敬称略）

会長	松本 文男	委員	原 安礼
副会長	稲見 俊幸	委員	川田 玲子
委員	荻原 剛	委員	横島 絹子
委員	坪山 仁	委員	海老原 忠（校長）
委員	影山 政夫	委員	黒崎 智照（教諭）



## ◇学校経営方針と今年度の重点・努力点をお知らせします

### ◇学校経営方針◇

テーマ 「人とつながり、ふるさととつながり、未来とつながる」

キーワード 「つなぐ」

教職員一人一人が教育的愛情をもち、その資質・能力を十分に発揮するとともに、学校運営に積極的に参画する。また、保護者・地域社会との連携協力のもと、各教育活動のねらいを明確にし、楽しく充実した学びにより全ての児童生徒の生きる力を育めるよう、組織的に教育活動を展開する。

- (1) 創意ある学校経営の推進に努め、『特色ある学校づくり』を進める。
- (2) 生命や人権を尊重する態度、思いやりの心、共に生きる力を育成する。
- (3) 基礎・基本の確実な習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力及び主体的に学ぶ態度を育成する。
- (4) 体力増強と健康の保持増進を図るとともに、健康・安全に対する実践的な態度を育成する。
- (5) 「教育は人なり」を合言葉に互いに切磋琢磨し、教職員としての資質・能力の向上に努める。

### ◎努力点

〈自ら学んで互いに高め合える子〉

- (1) コミュニケーション能力の向上
- (2) 主体的に学習に取り組み学び合う態度の育成
- (3) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用する力の育成
- (4) 読書活動の推進
- (5) 情報教育の推進

〈心豊かで助け合える子〉

- (1) 望ましい人間関係づくりの形成
- (2) 特別支援教育の充実
- (3) いじめ、不登校等への組織的な対応
- (4) 人権意識・人権感覚の高揚
- (5) 教育活動全体を通じて行う道徳教育

〈体を鍛えやり抜く子〉

- (1) 基本的な生活習慣の確立
- (2) 健康の保持増進
- (3) 体力の向上
- (4) 安全教育の推進
- (5) 食育の推進



## 校長室の窓から

大会が終わった翌日、南校舎の廊下を歩いていたら、「昨日は応援、ありがとうございました。」という男子生徒の声が、耳に飛び込んできました。なんとも気持ちの良いすがすがしい声でした。当日ならまだしも、翌日にこのような言葉が言える。素晴らしいことです。この一言で、その日は1日とても幸せな気持ちで過ごすことができました。